

眠っている不動産を売却して町の収益に

○土地売却収入 1,423万1,000円増

町有地を4件売却しました（一般競争入札）。行政・病院事業改革特別委員会では、他の未利用施設についても積極的に売却するよう、執行部と協議を重ね働きかけています。

ふるさと寄附金額が増加しました

○〔歳入〕ふるさと寄附金 1,550万円増

○〔歳出〕ふるさと応援事業 2,395万5,000円増
（基金積立1,550万円、事務経費や委託料845万5,000円）

ふるさと寄附金は、ふるさと納税制度を活用して応援したい自治体に寄附をするものです。大島大橋貨物船衝突事故があった平成30(2018)年に多額の寄附をいただきましたが、今年度はそれに次ぐ額の寄附が見込まれています。

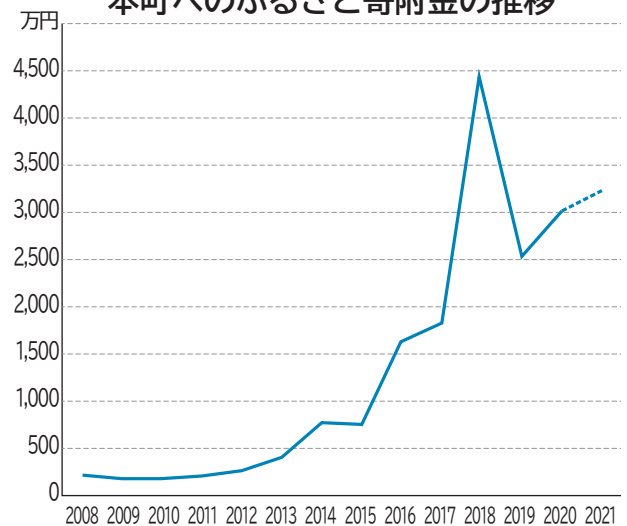
本町では、「ふるさと応援基金」として積み立てられ、まちづくりに計画的に活用されます。

ふるさと納税は、自分の住んでいる自治体にすることもできます（ただし、地域産品などの返礼品はもらえません）。

返礼品の魅力が、ふるさと寄附金の増加にもつながっています。2月9日には、出品されている方々と、これから出品を考えておられる方々を対象に勉強会が予定されています。ご興味のある方は、ぜひご参加ください！

（お問合わせは 0820-74-1007 政策企画課まで）

本町へのふるさと寄附金の推移



アウトドアブームに乗ってオートキャンプ場が人気！

○〔歳入〕片添ヶ浜施設使用料 838万6,000円増 財源：山口県

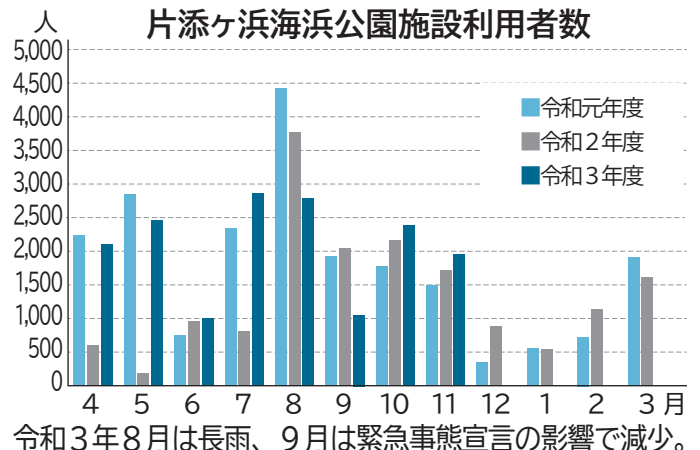
○〔歳出〕公園等管理経費（片添ヶ浜海浜公園） 838万6,000円増（指定管理者へ）

片添ヶ浜海浜公園は、コロナ禍でのキャンプ需要の増加と、指定管理者のさまざまな工夫により、当初の予定よりも多くの方にご利用いただき、大幅な増収となりました。この施設は、県から町を経由して指定管理者へ委託をしています。



片添ヶ浜海浜公園オートキャンプ場

片添ヶ浜海浜公園施設利用者数



令和3年8月は長雨、9月は緊急事態宣言の影響で減少。